

東区における取組みの状況

前回の推進会議（令和3年9月、書面開催）では以下の事項について、委員の皆様にはたくさんのご意見をいただきありがとうございました。
それらのご意見を踏まえ、令和4年9月までに東区で実施した取組みをご報告いたします。

【参考 令和3年度東区地域包括ケアシステム推進会議資料から抜粋】

～東区（第2層）で検討や取組みが必要な事項～

令和3年8月 ワーキング会議より

いずれの課題も検討・実施すべきだが、全ての問題を解決することは困難。
では今、優先的に着手すべきことは・・・？

- 1) コロナの正しい感染対策を区民全体で理解すること
- 2) 十分な対策を取った上で、心身の機能とつながりを途絶えさせないことが大事であるという認識が共有され、実践されること

それに対する具体的方策は・・・？

- ① 感染防止対策教室の実施（正しく怖がり、効果的に防ぐ!）
- ② 正しい知識を伝えるボランティアの養成
- ③ リスクレベルに応じた活動支援
（活動再開時の感染対策相談、会えなくてもつながり続ける仕組みの検討）
- ④ ウェブ会議体験会の実施（オンラインでつながる体験）
- ⑤ コロナ禍における好事例の紹介（みなさんのヒントになるように）
- ⑥ その他（こんな取組みがいいのでは？というアイデアがございましたらお聞かせください）



① 感染防止対策教室の実施（正しく怖がり、効果的に防ぐ!）に対して

- 熊本託麻台リハビリテーション病院 感染防止対策教室の周知・啓発
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための「感染防止対策教室」
～濃厚接触者ゼロとコロナ差別ゼロを目指して～
（講師）平田好文氏（医療法人堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院 理事長・病院長）
周知先：東区管内 自治会長・自治連合会長、地域公民館長、民生委員・児童委員協議会長、食生活改善推進員協議会長、8020推進員協議会長、健康まちづくり協議会長、認知症サポートリーダー、介護予防サポーター、市立幼・小・中・高・専門学校長、市立保育園長

② 正しい知識を伝えるボランティアの養成

- 地域団体や各種ボランティアを対象に、感染対策に関する啓発を実施
- 元気くらぶ等の活動再開時に、参加者を対象に感染対策を含めた健康教育を実施

③ リスクレベルに応じた活動支援

（活動再開時の感染対策相談、会えなくてもつながり続ける仕組みの検討）に対して

- サロン活動支援事業「レクリエーション教室」←閉じこもりがち
- 地域活動理解促進事業「就学前世帯と地域団体等との交流の場づくり」←子育て世代同士の交流
- ICTサポート（ホームページ・公式ラインアカウント構築支援）←情報が伝わらない
- 地域と企業を結ぶまちづくり応援事業「地域力パワーアップ大作戦」←民間企業の協力
- 健康情報の提供やモチベーションを維持する目的で、通信等を発行（対象：元気くらぶ、認知症サポートリーダー）
- 地域活動の再開に向けた相談対応と啓発（感染対策方法の紹介とフレイル予防等について）
- オンラインによる講座開催（公民館主催講座、認知症サポートリーダー養成講座・交流会）

④ ウェブ会議体験会の実施（オンラインでつながる体験）に対して

- スマートフォンの使い方講座（LINE、QRコードの活用等初心者向け）
- ICTサポート（リモート会議支援）
- Zoom講座後にオンラインでの研修会を実施（使い方と使う機会の提供）
- おでかけ公民館（地域からの要望に応じて講師を派遣）
- 公民館主催講座のオンライン開催

⑤ コロナ禍における好事例の紹介（みなさんのヒントになるように）に対して

- 市政だよりやまちセンだよりで地域活動の好事例を紹介
- 元気くらぶだよりで活動継続の工夫について紹介

⑥ その他（マッチング支援）

- サロン活動支援事業「マッチング冊子」←ボランティアと場のマッチングが必要
- 地域と企業を結ぶまちづくり応援事業「地域力パワーアップ大作戦」
←部屋などの情報を得るツールがない、社協や企業等との課題の共有